



ダブリン学区
事前の欠席届
Pre-Arranged Absence Form

Students
5200 F1
Revised 4/5/24
Page 1 of 2
Japanese

生徒名： _____ 生徒 ID 番号： _____ 学年： _____

欠席日： _____ 欠席日数： _____ 担任： _____

- 通常の病気の理由以外に**1日またはそれ以上**学校を欠席する予定の生徒は、記入済みの欠席届を、欠席の少なくとも3日前までに学校のオフィスに提出しなくてはなりません。
この届けは**全日欠席する場合のみ**使用します。
- 結核が風土病である地域に連続して30日以上滞在をした生徒は、帰国後アメリカ合衆国内で結核のテストを受け、陰性であることを証明するものを提出することが義務付けられています。
- 海外渡航中は、サイバーセキュリティ上の懸念から、生徒はDCSテクノロジーシステムにアクセスすることはできません。例外が必要な場合は、intl_travel_request@dublinschools.net までメールでお問い合わせください。

学校出席を管理する法律は非常に明確で、生徒の欠席免除にあたり、学校にはほとんど選択の余地がありません。オハイオ改定条例は欠席を正当な理由となるもの、またはそうではないものに分類しています。以下は州によって定められた正当な理由となる8つの条件です。8つの条件に当てはまらない場合、正当な理由によらないため無断欠席とみなされます。

欠席が5日以下の場合、教師が課題を提供し、終了した課題を回収することで、生徒が全単位を取得することができます。5日以上の場合、遠隔によるサポートを長期間継続することができないため、教師が個別指導を行うことは求められていません。詳細は、お子さんの校長や担任にご相談ください。

オハイオ州では、下院法案410により、生徒を「慢性的な欠席」または「常習的な無断欠席」になる基準が示されています。HB 410と教育委員会ポリシー5200の情報をを用いると、長期の海外旅行は、たとえ事前に手配されていたとしても、正当な理由の欠席とはみなされません。30時間以上連続して、または1ヶ月で42時間、1年で72時間、無断欠席が続くと、「常習的な無断欠席」とみなされます。生徒が常習的な無断欠席とみなされ、欠席介入計画を立てられ、少年裁判所に提出されることを避けたい場合は、お子さんの退学手続きをし、アメリカに戻る際にダブリン学区への再入学手続きを予定するべきです。

欠席理由(正当な理由):

- 本人（生徒）の病気
- 家族の病気により生徒が家に留まる必要あり
- 自宅での隔離
- 真の宗教的祝日の順守または祭事
- 家族の死亡
- 専門医の診断・治療のための欠席
- 両親または保護者が不在または非力のため、家事をしなければならない場合（14才以上に限る）
- 家族の緊急事態 _____

欠席理由（正当でない）

- 旅行 - 旅行のために休んだ日は州法で、正当な理由によるものではない欠席としてみなされますが、欠席中の課題が完了していない場合以外、欠席により成績に影響することはありません。
- その他は説明してください： _____

保護者から欠席することに関する補足説明（任意で記入）： _____

生徒の署名 _____ 日付 _____
(ミドルスクールの生徒と高校生のみ署名が必要)

保護者／後見人の署名 _____ 日付 _____

